

日本共産党

ひめだ高宏ニユエ

NO. 56

'09. 7. 22

衆院解散 8月18日公示 30日投票 総選挙

小・中学校の夏休みが始まったのに、まだ梅雨があけないで変な天気が続いています。総選挙の顔として誕生した麻生首相は、ズルズル解散を先送りし続け国民からも党内からも見放され、ようやく「決断」ついに総選挙が始まります。

総選挙勝利を南ブロック後援会集い

7月19日(日)午後7時30分から紀三井寺・地場産業振興センターで「総選挙勝利をめざす日本共産党南ブロック後援会のつどい」を開きました。

山本事務局長の司会で、



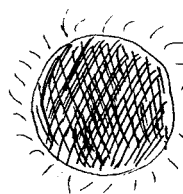
写真①

まず山塚副会長が開会のあいさつ。私・ひめだ(写真)

フリーの人々

<599>

皆既日食

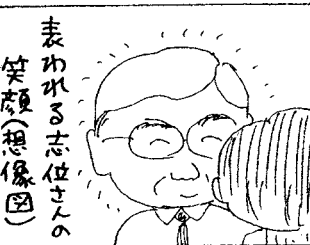


(ただし想像図)



国民生活に影を落とす

麻生政権が退場し



表われる志位さんの笑顔(想像図)



こうなるよう選挙がんばらないと



写真② 決意語るくにしげとら心い県議(右側)

①は、市政報告(ゴミ袋有料化・ミニホートピア建設を阻止した党市議団の活動)と、なんでも無料相談所の取組みを報告。
3い健太郎県会議員は6月県議会に出す水た大型補正予算と党県議団の論戦を報告。

くにしげ秀明衆院予定候補は、消費税増税反対署名を通じて聞いた県民の切実な声・願いを紹介し、国政を交えるためにも日本共産

こんにちは

県会議員の

ふじい健太郎

です。

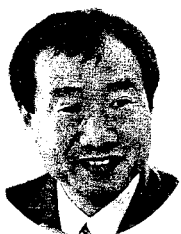
(その244)

雇用、社会保障、平和を守る事ができます。地方自治体の仕事も前進させることができます。

党の議席を増やそうと訴えました。話のあとは、由井さんの指導で、憲法九条五月晴水しをほほ全員で合唱しました。参加は56人。

さあ、いよいよ総選挙です。安倍、福田、麻生と国民の信任を得ず政権たらい回しをし、国民に塗炭の苦しみを強いた自民・公明の政治に終止符を打つときが来ました。国民が主人公となる新しい政治をすすめるためにも、自・公政権と真正面から対決してきた日本共産党の前進がかかせません。財界・大企業やアメリカにきっぱりものが言える日本共産党の議席を増やしてこそ、国民の

2年後となりました。昨年、辞職した後みつる市議の地域から、松坂みち子さんが立候補することとなりました。ひめだ高宏さんと、森下さち子さんとともに力を合わせて地方政治の刷新をめざします。私も全力でがんばります。応援よろしくお願ひします。



ふじい健太郎 県会議員

解散・総選挙

2009年7月21日

勝利めざし死力を尽くします

今、国会が解散されました。

いよいよ待ちに待った総選挙です。自民・公明政権退場のきっぱりした審判をください、日本共産党の躍進で新しい政治の流れをつくりましょう。

「近畿は一つ」日本共産党の底力を総発揮し、比例での

160万票を実現し、3議席を守り、4議席獲得を！
必勝区京都1区での勝利を！

私ども候補者は、一丸となって死力を尽くします。
「日本の夜明けは近畿から！」

衆議院近畿ブロック予定候補

- | | | | |
|----------|--------|-----------|---------|
| 前衆議院議員 | こくた 忠二 | 元兵庫県議会議員 | 金田 かねお |
| 前衆議院議員 | 若井 英勝 | 党滋賀県書記長 | 川内 たかし |
| 元参議院議員 | 若本 たけし | 党和歌山県常任委員 | くにしげ 秀明 |
| 党兵庫県常任委員 | 河野 ひと子 | 党奈良県書記長 | 豆田 よしり |



こんにはは 日本共産党



7月からフランスのレストランの消費税(付加価値税)率が19.6%から5.5%へ下がっています。消費刺激などが狙いといわれています。5.5%

は食料品と同じ率です。付加価値税の減税は、ギリスが先行。この減税は、小売業の売上高の増加という効果をもたらしました。アメリカでは、中低所得層への減税と、富裕層への増税が提案されています。日本の政府・与党には減税の素振りすらなく、増税の方針を明らかにしている



くにしげ 秀明 (衆院1区・比例)

のですから、世界の流れに逆行しています。日本でも消費税の食料品非課税や、減税つづきの大企業・大資産家への増税こそが、生活の安心や景気回復への道です。

日本共産党 演説会のお知らせ

8月11日(火) 夜7時~

ダイクロイネットホテル(公園前)

市田 忠義 党書記局長が
新しい政治の道筋を語ります

くにしげ 秀明 とも話します。

お誘いあわせしぜひご参加ください。



市田 忠義 党書記局長

潮流

(日刊旗 09.7.22)

きょうは皆既日食です。46年ぶりに日本の陸地でみえる皆既日食ですが、46年前の1963年にも解散・総選挙がありました▼国民の

もいえそうです。きょう、日本共産党の志位委員長が東京・新宿駅前での演説でよびかけました。自公政権を退場させ、「自公政権、さよなら」と審判を下せる選挙に、と▼加えて、歴史の進みぐあいは速い。ただ自公政権を終わらせるだけでは、待つ、それとありませぬ。1年前、どれほどの人が、いまのようにひどい経済のゆきづまりを予想したでしょうか。オバマ米大統領の「核兵器のない世界へ」演説を予想できたでしょう▼人間の命と生活を犠牲にしてまで財界を応援する政治をあらため、ルールある経済社会を。

▼46年前の総選挙で日本共産党は、3議席から5議席へ前進しています。とはいえ当時は、東京オリンピックを翌年に控え、「高度成長」の最中です。「所得倍増解散」とよばれた解散による総選挙で、自民党政権はまだ安泰でした▼こんどはまた安泰でした▼こんどは解散は、追いつめられた府首相のよ水よ水解散ですが、「さよなら解散」と

を解き放ち、てゆく事業は考えられませぬ。

憲法を守りくらしを守る
赤旗
日刊紙 2,900円/月